

写真管理の インストール手順

新規インストールの手順	P.2
1. ネット認証ライセンスのインストール	P.3
2. 写真管理のインストール	P.5
3. ネット認証ライセンスのプロダクトID認証	P.7
プログラムの更新手順 (バージョンアップ/アップデート)	P.10
1. ネット認証ライセンスの更新	P.11
2. 写真管理の更新	P.13
【補足1】：ネット認証ライセンス (LAN) をお使いの場合は	P.16
ネット認証ライセンス (LAN) サーバーのインストール	P.16
ネット認証ライセンス (LAN) サーバーの更新	P.18
【補足2】：USBプロテクト【SNS-W】を使用する場合は	P.20
USBプロテクト【SNS-W】のインストール	P.20
USBプロテクト【SNS-W】の書き換え	P.22
【補足3】：USBプロテクト【SNS-LAN-X】を使用する場合は	P.23
USBプロテクト【SNS-LAN-X】のインストール	P.23
USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え	P.26
【補足4】：セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は	P.27
Q&A	P.29

新規インストールの手順

写真管理

写真管理の新規インストールの手順について解説します。

新規インストールは、右図の流れでおこないます。

注意 セットアップ時の権限について

プログラムをインストールするには、Administratorsグループに所属しているユーザーや、「コンピューターの管理者」のユーザーで、ログオンする必要があります。

— インストールの流れ —

1. ネット認証ライセンスのインストール

2. 写真管理のインストール

3. ネット認証ライセンスの製品ID認証

ネット認証ライセンス（占有）または（共有） を使用するお客様は

- ・ 3ページからの手順にしたがって、コンピューターに「写真管理」をインストールします。

ネット認証ライセンス（LAN） を使用するお客様は

- ・ 16ページ「ネット認証ライセンス（LAN）サーバーのインストール」を参照して、サーバーをインストールします。
- ・ 次に、5ページからの手順にしたがって、各コンピューターに「写真管理」をインストールします。

USBプロテクト【SNS-W】 を使用するお客様は

- ・ 20ページ「USBプロテクト【SNS-W】のインストール」を参照して、USBプロテクトのドライバをインストールします。
- ・ 次に、5ページからの手順にしたがって、コンピューターに「写真管理」をインストールします。



USBプロテクト【SNS-LAN-X】 を使用するお客様は

- ・ 23ページ「USBプロテクト【SNS-LAN-X】のインストール」を参照して、サーバーをインストールします。
- ・ 次に、5ページからの手順にしたがって、各コンピューターに「写真管理」をインストールします。

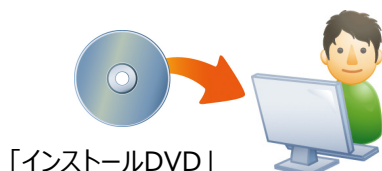


1. ネット認証ライセンスのインストール

プログラムのライセンスを管理するために必要な「ネット認証ライセンス」をインストールします。

※ ネット認証ライセンス (LAN) 、または USBプロテクト【SNS-W】【SNS-LAN-X】を使用する場合は、本操作は必要ありません。 P.5へお進みください。

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



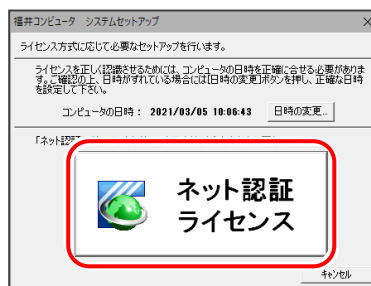
2. セットアップ画面を [その他インストーラー] に切り替えて、[ネット認証ライセンス] を押します。



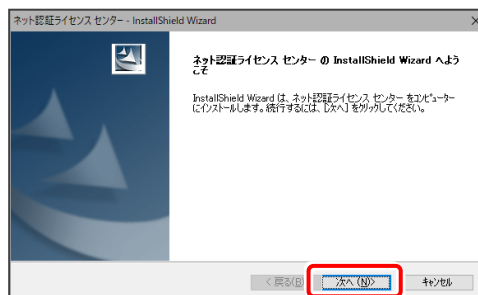
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。

※ セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は、P.26「補足4：セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は」を参照して下さい。

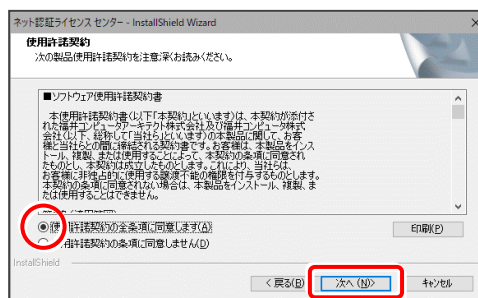
3. コンピューターの日時を確認し、[ネット認証ライセンス] ボタンを押します。



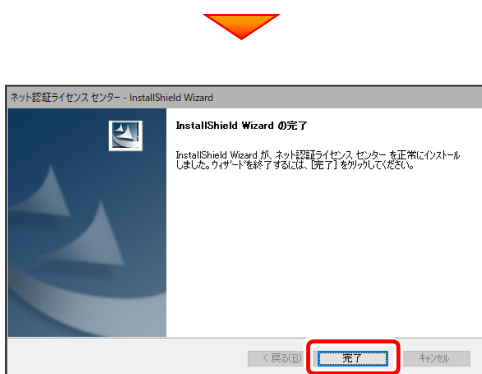
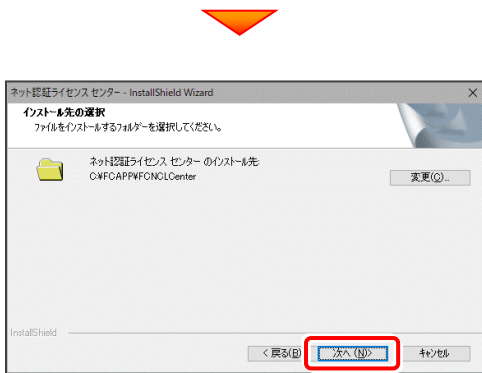
4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[使用許諾契約の全条項に同意します] を選択します。



(次ページへ続きます)



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

ネット認証ライセンスのインストールは完了です。
次ページへ進み、写真管理をインストールします。

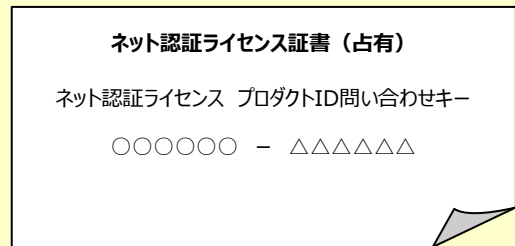
プログラムの初回起動時に、プロダクトIDの認証が必要です！！

弊社プログラムを使用するには、
「ネット認証ライセンス」のプロダクトIDを認証する必要があります。

－ネット認証ライセンス（占有）の場合－

「プロダクトID問い合わせキー」を使用します。

「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 で、送付される「ネット認証ライセンス証書（占有）」に記載されています。



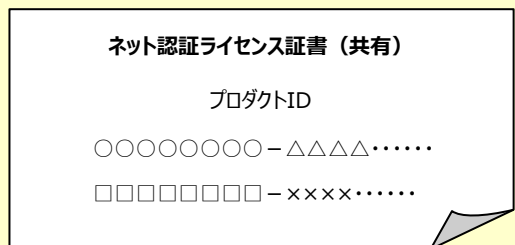
－ネット認証ライセンス（共有）の場合－

ソフトウェア管理者から提供された「プロダクトID」を使用します。

ソフトウェア管理者の方へ

ライセンスの認証で必要になる「プロダクトID」は、送付される「ネット認証ライセンス証書（共有）」に記載されています。

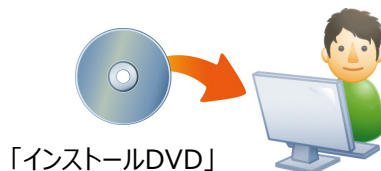
ソフトウェア管理者の方は、あらかじめ
どの利用者（コンピューター）がどの「プロダクトID」を使用するかを決めて配布してください。



2. 写真管理のインストール

写真管理を、新規インストールします。

1. プログラムをインストールするコンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



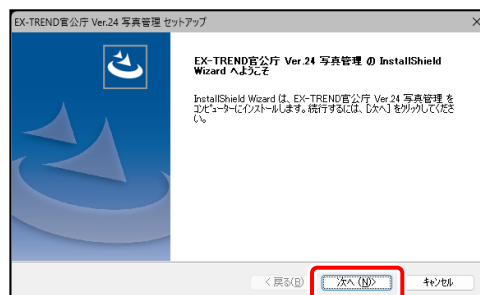
2. セットアップ画面で、「写真管理」を押します。



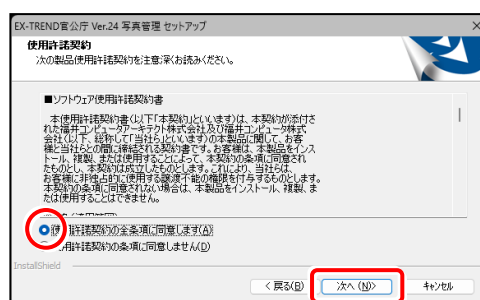
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。

※ セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は、P.27「補足4：セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は」を参照して下さい。

3. 表示される画面に従って、インストールを行います。

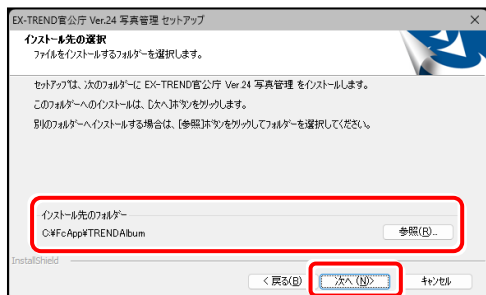


[使用許諾契約の全条項に同意します] を選択して、[次へ] ボタンを押します。

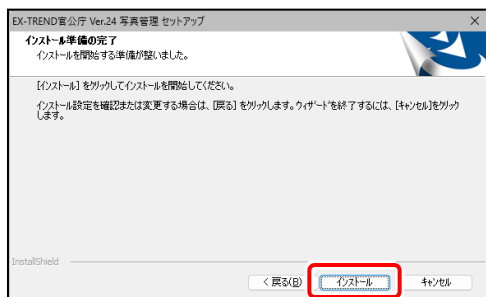


(次ページへ続く)

[インストール先のフォルダ] を指定して、
[次へ] ボタンを押します。

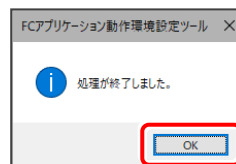
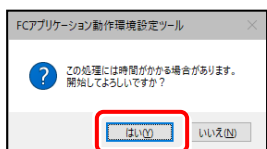
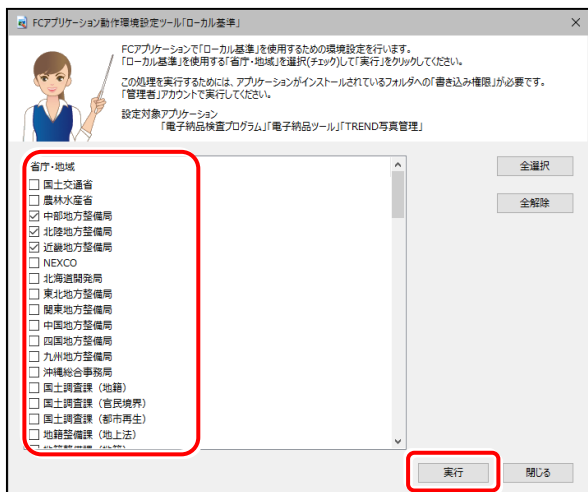


[インストール] を押すと、ファイルのコピーが開始されます。この処理は時間がかかる場合があります。

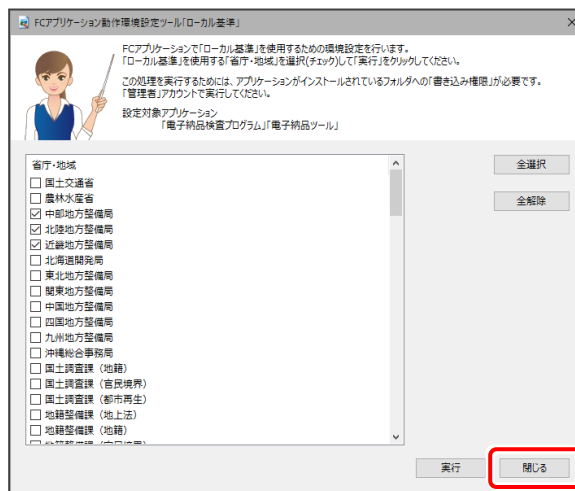


4. ローカル基準の環境設定をおこないます。

使用する省庁・地域のチェックボックスをオンにし、
[実行] ボタンを押します。



[閉じる] ボタンを押します。



5. [完了] ボタンを押します。



プログラムのインストールは完了です。

再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。

セットアップされたプログラムのバージョンは、
プログラムを起動後に、[ヘルプ] - [バージョン情報]
コマンドで確認することができます。

写真管理のインストールは完了です。
次ページへ進み、プログラムを起動します。

3. ネット認証ライセンスのプロダクトID認証

プログラムの起動時に、ネット認証ライセンスの「プロダクトIDの認証」が表示される場合があります。表示される画面にしたがって、プロダクトIDの認証をおこなってください。

※ プロダクトIDの認証時には、インターネットに接続された環境が必要です。

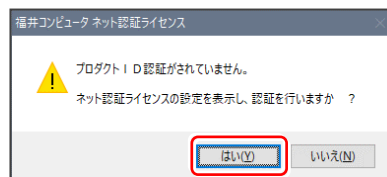
1. デスクトップの [写真管理] をダブルクリックして起動します。



2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、

[はい] を押してプロダクトIDの認証をおこないます。

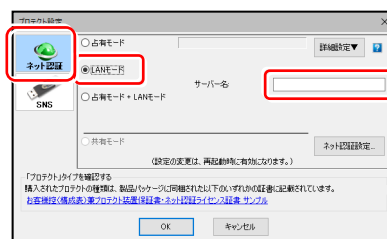
- ※ ネット認証ライセンス（占有）または（共有）を使用する場合は、[はい] を押します。
- ※ ネット認証ライセンス（LAN）を使用する場合は、[いいえ] を押します。



[プロテクト設定] 画面が表示された場合は、

使用するプロテクトを選択して [OK] を押します。

- ※ ネット認証ライセンス（LAN）を使用する場合は、[ネット認証] の [LANモード] を選択して、[サーバー名] に「FCネット認証LAN サーバー」をインストールしたサーバーのコンピューター名を入力してください。

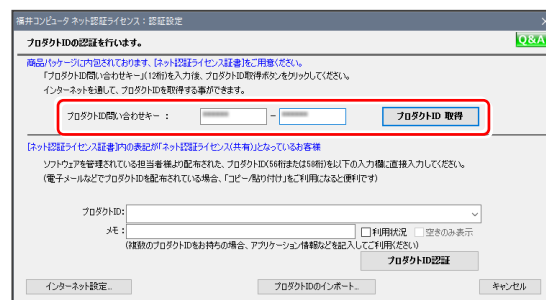


ネット認証ライセンス（占有）の場合、プロダクトID認証の手順

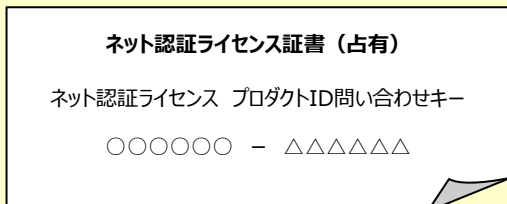
※ ネット認証ライセンス（占有）のお客様のみ、おこなってください。

[プロダクトID問い合わせキー] を入力して、
[プロダクトID取得] ボタンを押します。

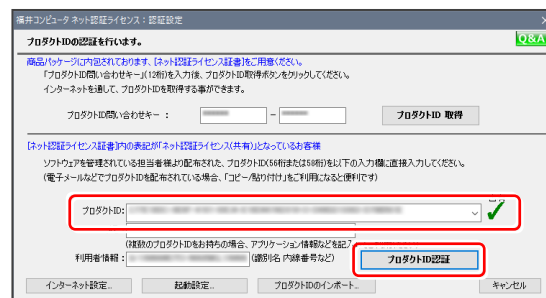
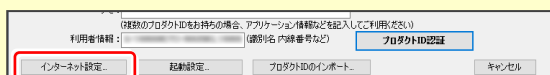
[プロダクトID] が取得されたのを確認したら、
[プロダクトID認証] ボタンを押します。



[プロダクトID問い合わせキー] は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書（占有）」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定] ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続く)

「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。
 お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します
 事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
 - 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
 - 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。
- ※ 自動解除の設定は、お客様のご判断でご使用ください。



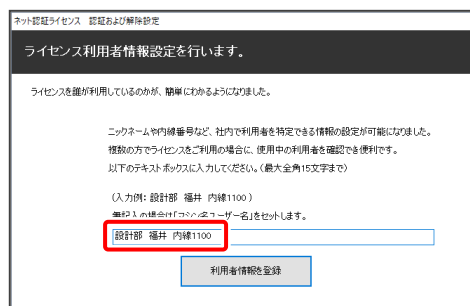
設定を終えたら、[OK] ボタンを押します。



利用者情報を入力して登録してください。

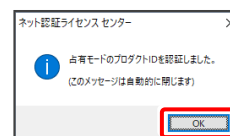
【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。

内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



ネット認証ライセンス（占有）のプロダクトIDが認証されます。

続いて次ページ **3.** に進みます。



ネット認証ライセンス（共有）の場合、プロダクトID認証の手順

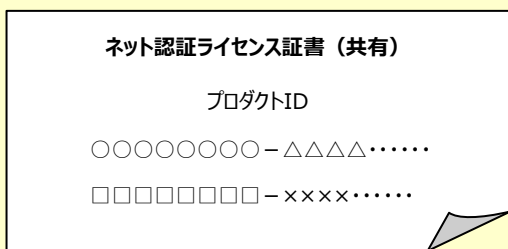
※ ネット認証ライセンス（共有）のお客様のみ、おこなってください。

[プロダクトID] にソフトウェア管理者から提供された
[プロダクトID] を入力し、[プロダクトID認証] ボタンを
押します。

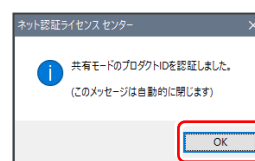
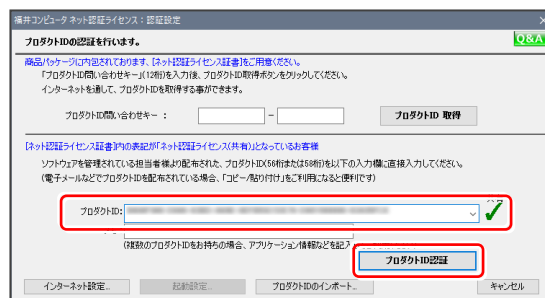
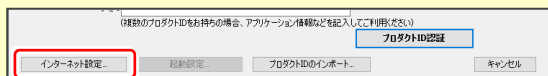
ソフトウェア管理者の方へ

ライセンスの認証で必要になる「プロダクトID」は、送付される
「ネット認証ライセンス証書（共有）」に記載されています。

ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどの利用者（コンピューター）が、
どの「プロダクトID」を使用するか決めて配布してください。



※ プロダクトIDの認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]
ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



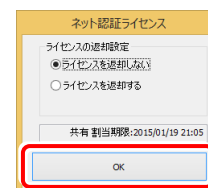
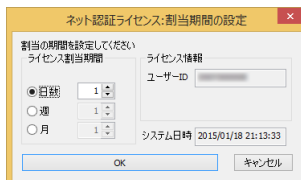
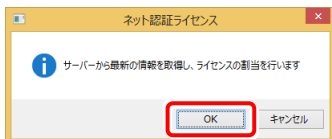
3. プログラムが起動されます。

－ ネット認証ライセンス（共有）の場合 －

ネット認証ライセンス（共有）では、プログラムの起動時にライセンスの割り当てをおこないます。

ライセンスを保持する期間を確認（または変更）して、[OK] ボタンを押します。

（管理者により割り当て期間が1日と決められている場合は、割り当て期間の設定は表示されません。）



またプログラムの終了時に、ライセンス返却のダイアログが表示されます。（右図）

返却する/返却しないを選択した後、[OK] ボタンを押してプログラムを終了します。

以上で新規インストールは完了です。

プログラムの更新手順 (バージョンアップ/アップデート)

写真管理

コンピューターにセットアップされている写真管理を、バージョンアップ/アップデートする手順について解説します。

注意

データのバックアップをおこなってください

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体（HDD、CD、DVDなど）に保存してください。

また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

— インストールの流れ —

1. ネット認証ライセンスの更新



2. 写真管理の更新

ネット認証ライセンス（占有）（共有） を使用しているお客様は

- ・ 11ページからの手順にしたがって、コンピューターの「写真管理」を更新します。

ネット認証ライセンス（LAN） を使用しているお客様は

- ・ 18ページ「ネット認証（LAN）サーバーの更新」を参照して、サーバーのライセンス情報を更新します。
- ・ 次に、13ページからの手順にしたがって、各コンピューターの「写真管理」を更新します。

USBプロテクト【SNS-W】 を使用しているお客様は

- ・ 22ページ「USBプロテクト【SNS-W】の書き換え」を参照して、USBプロテクトのライセンス情報を書き換えます。
- ・ 次に、13ページからの手順にしたがって、コンピューターの「写真管理」を更新します。



※黒色

【SNS-W】

USBプロテクト【SNS-LAN-X】 を使用しているお客様は

- ・ 26ページ「USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え」を参照して、サーバーのUSBプロテクトのライセンス情報を書き換えます。
- ・ 次に、13ページからの手順にしたがって、各コンピューターの「写真管理」を更新します。



※黒色

【SNS-LAN-X】

1. ネット認証ライセンスの更新

プログラムのバージョンアップ時や、プログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時には、「ネット認証ライセンス」のアップデートと、ライセンス情報の更新が必要です。

※ ライセンス情報を更新しないと、追加購入したプログラムを使用することはできません。

※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

※ ネット認証ライセンス (LAN) 、または USBプロテクト【SNS-W】【SNS-LAN-X】を使用している場合は、本操作は必要ありません。P.13へお進みください。

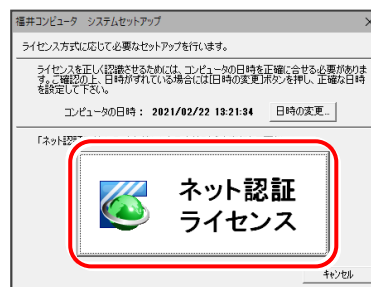
Step1 | ネット認証ライセンスのアップデート

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。

2. セットアップ画面を [その他インストーラー] に切り替えて、[ネット認証ライセンス] を押します。



3. コンピューターの日時を確認し、[ネット認証ライセンス] ボタンを押します。

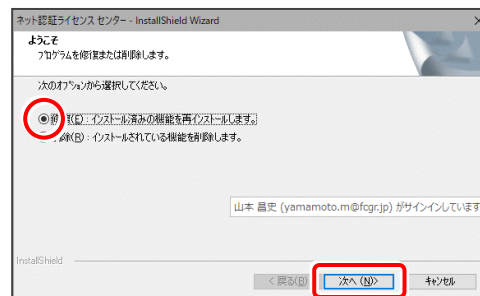


※ 下の画面が表示された場合は、最新のネット認証ライセンスがインストールされています。

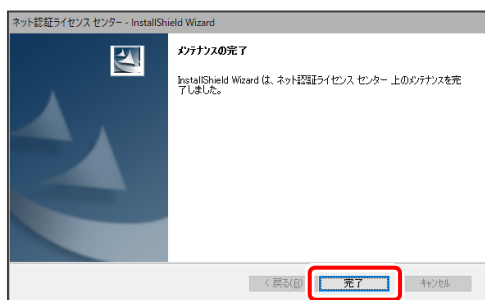
[OK] を押して処理を中止し、次ページの「Step2 | ライセンス情報の更新」へお進みください。



4. [修復] を選択して、[次へ] ボタンを押します。



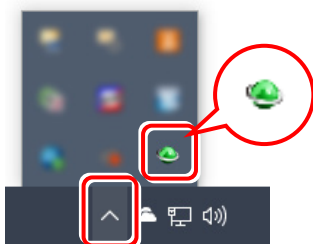
(次ページへ続きます)



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

Step2 | ライセンス情報の更新

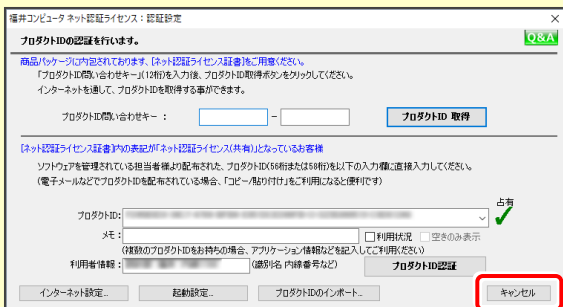
1. 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。



「ネット認証ライセンス：認証設定」画面（下画面）が表示された場合は

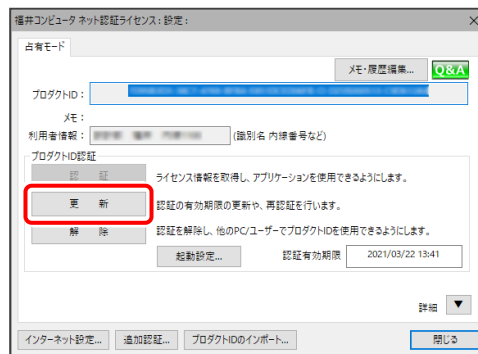
プログラムの起動時に自動的にライセンス情報が更新されますので、更新の必要はありません。

[キャンセル] ボタンを押して画面を閉じてください。

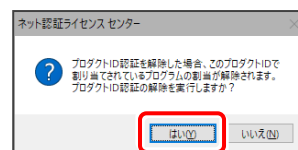
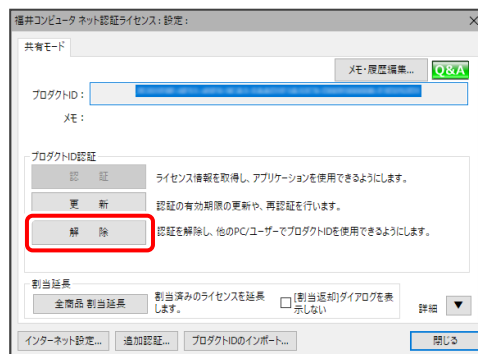


2. 「ネット認証ライセンス：設定」画面が表示されます。

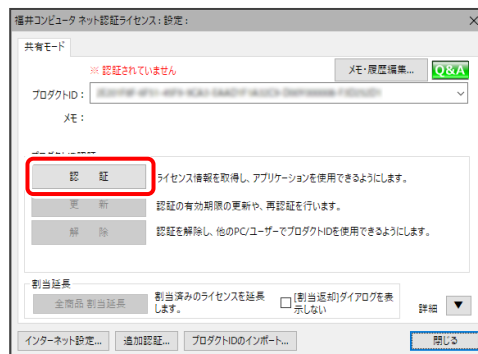
— ネット認証ライセンス（占有）の場合 —
[占有モード] タブで、[更新] ボタンを押します。



— ネット認証ライセンス（共有）の場合 —
[共有モード] タブで、[解除] ボタンを押します。



プロダクトIDはそのまま変更しないで、[認証] ボタンを押します。

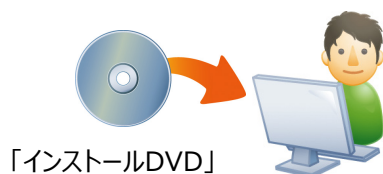


ネット認証ライセンスの更新は完了です。

2. 写真管理の更新

写真管理を、バージョンアップまたはアップデートする手順について解説します。

1. プログラムをインストールするコンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面で、「写真管理」を押します。



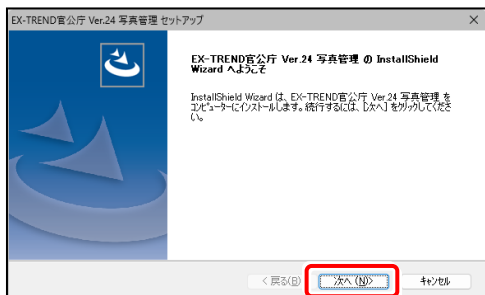
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の
[INSTALL.EXE] を実行してください。

※ セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は、
P.27「補足4：セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場
合は」を参照して下さい。

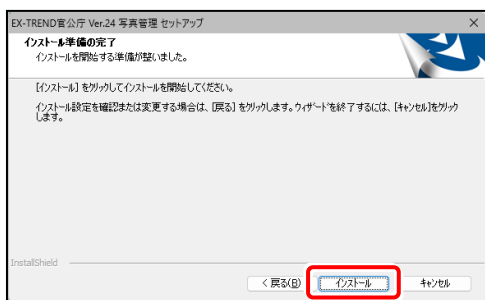
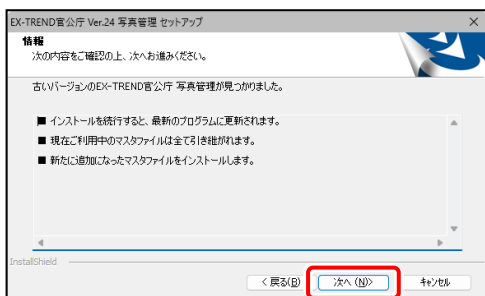
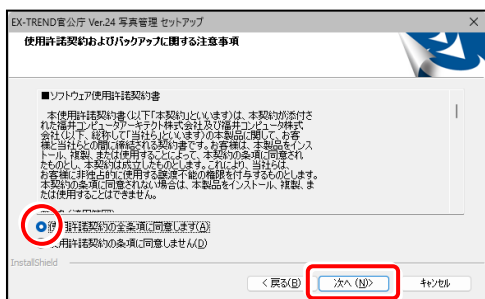
▼
(次ページへ続く)

3. 表示される画面に従って、インストールを行います。

● バージョンアップ の場合の手順



[使用許諾契約の全条項に同意します] を選択します。



(次ページへ続く)

● アップデート の場合の手順



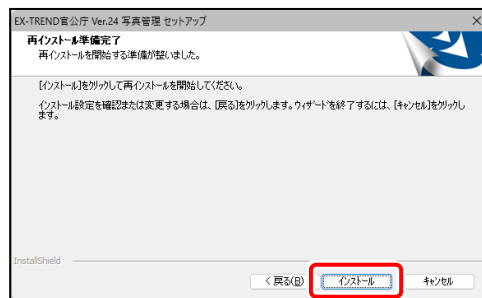
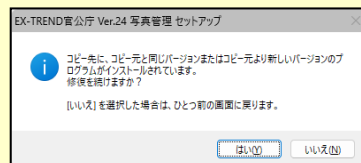
[修復] を選択します。



コピー先に、コピーするプログラムよりも新しい（または同じ）プログラムが既にインストールされている場合には、メッセージ「コピー先に、コピー元と～」が表示されます。

通常は、[いいえ] をクリックして処理を中止します。

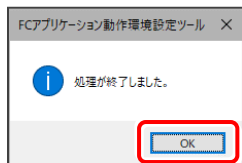
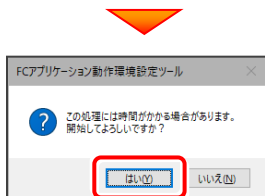
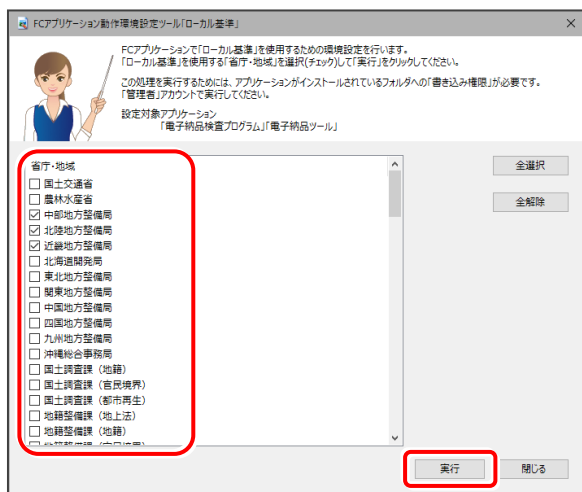
プログラムが正常に動かないなどで、修復したい場合は、[はい] をクリックします。



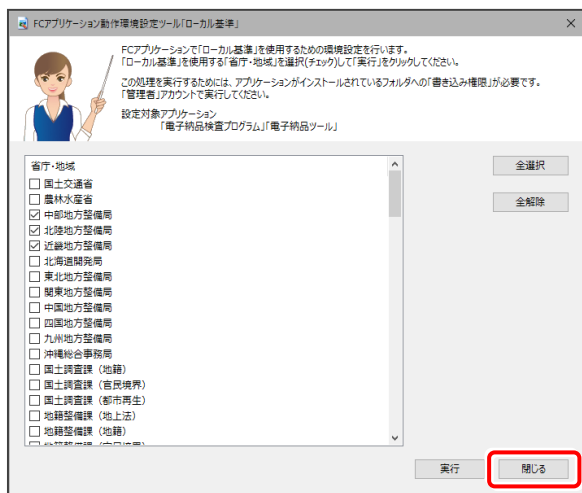
(次ページへ続く)

4. ローカル基準の環境設定をおこないます。

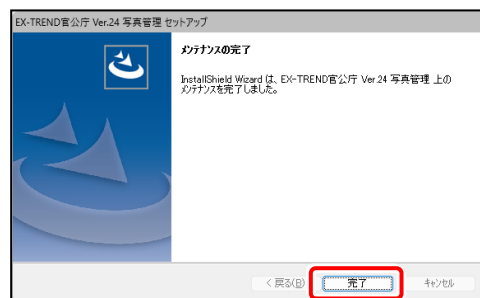
使用される省庁・地域のチェックボックスをオンにし、
[実行] ボタンを押します。



[閉じる] ボタンを押します。



5. [完了] ボタンを押します。



再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。

セットアップされたプログラムのバージョンは、プログラムを起動後に、[ヘルプ] - [バージョン情報] コマンドで確認することができます。

以上でプログラムの更新は完了です。

【補足1】： ネット認証ライセンス（LAN）をお使いの場合は

ネット認証ライセンス（LAN）サーバーのインストール

ネット認証ライセンス（LAN）を使用される方は、使用するサーバーに「ネット認証LANサーバー」をインストールした後、プロダクトIDの認証をおこないます。

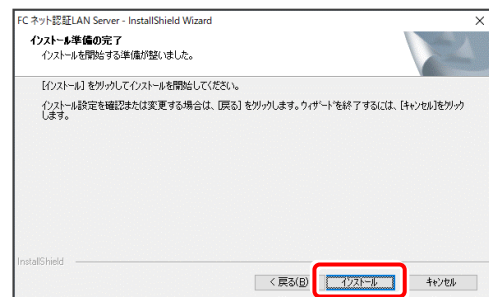
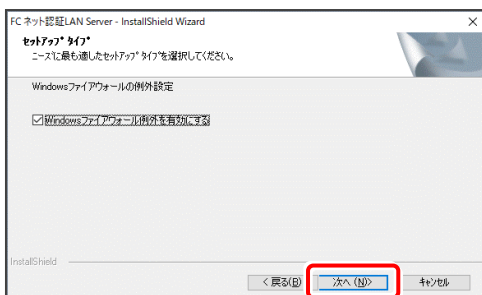
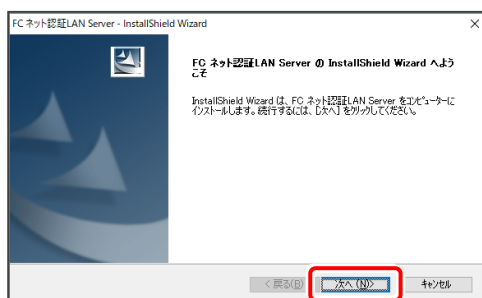
- ※ プロダクトIDの認証時には、インターネットに接続された環境が必要です。
- ※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

Step1 | ネット認証LANサーバーのインストール

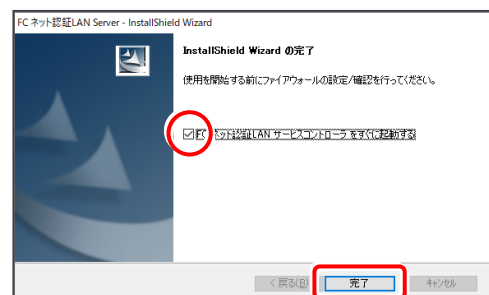
1. サーバーに「インストールDVD」をセットします。
2. セットアップ画面を [その他インストーラー] に切り替えて、[ネット認証ライセンスLANモードサーバー] を押します。



3. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーをインストールします。



4. [FC ネット認証LAN サービスコントローラ をすぐに起動する] にチェックを付けて [完了] を押します。

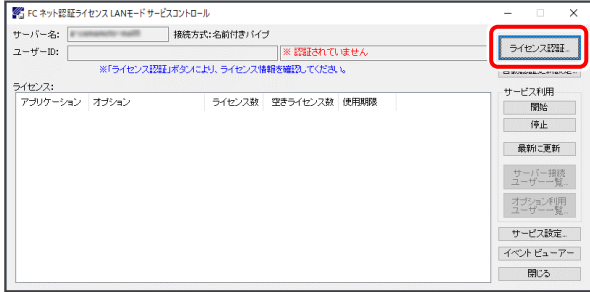


※ 再起動が必要な場合は、メッセージに従って再起動してから次の手順に進みます。

(次ページへ進みます)

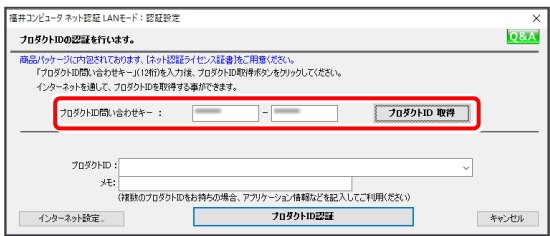
Step2 | プロダクトIDの認証 (サーバー)

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール] 画面で、[ライセンス認証] を押します。



※ 上記画面が表示されていない場合は、
Windows11 : スタートメニューの「すべてのアプリ」
Windows10 : スタートメニュー
 から、「FC ネット認証LAN Server」 - 「FC ネット認証LAN サービスコントローラ」を起動してください。

2. [認証設定] 画面が表示されますので、
 [プロダクトID問い合わせキー] を入力して、
 [プロダクトID取得] を押します。



※ 「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 で、送付される「**ネット認証ライセンス証書 (LAN)**」に記載されています。

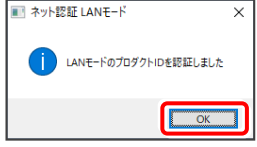
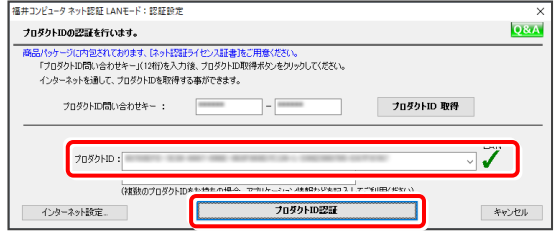
ネット認証ライセンス証書 (LAN)

ネット認証ライセンス プロダクトID問い合わせキー

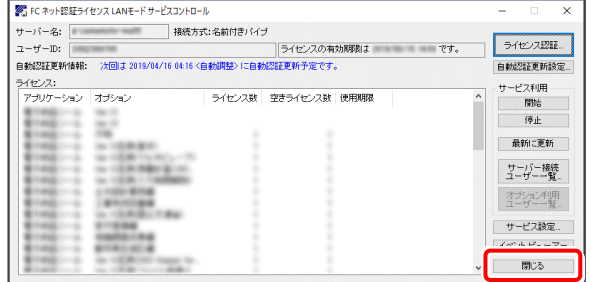
○○○○○○ - △△△△△△

※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定] を押して、プロキシ設定を変更してみてください。

3. [プロダクトID] が取得されたのを確認し、
 [プロダクトID認証] を押します。



4. ライセンス情報が取得されたことを確認し、
 [閉じる] を押します。



以上でネット認証ライセンス (LAN) のインストールは完了です。
 続けてクライアントで、各プログラムのセットアップをおこなってください。

ネット認証ライセンス（LAN）サーバーの更新

バージョンアップ時
ライセンス情報の変更時

プログラムのバージョンアップ時やプログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時には、ネット認証LANサーバー（ライセンス管理プログラム）の更新と、ネット認証ライセンス（LAN）のライセンス情報の更新が必要です。

※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

Step1 | ネット認証LANサーバーの更新

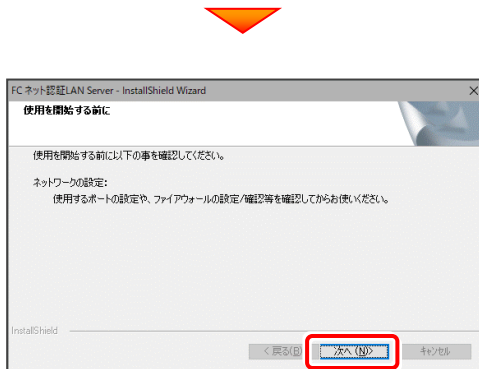
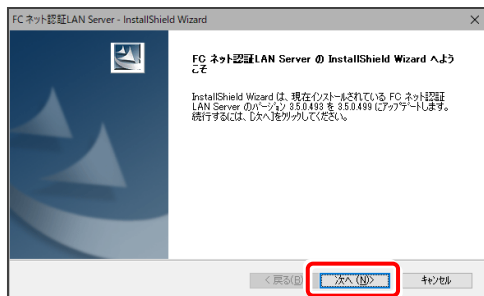
1. サーバーに「インストールDVD」をセットします。
2. セットアップ画面を [その他インストーラー] に切り替えて、[ネット認証ライセンスLANモードサーバー] を押します。



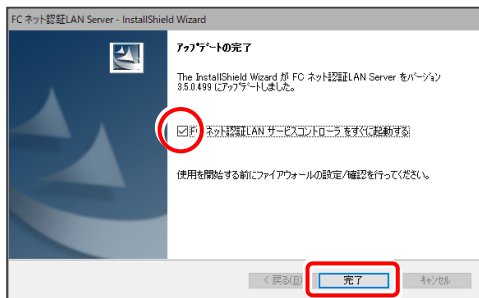
3. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーを更新します。
[修復] と [削除] の選択画面が表示された場合は、[修復] を選択してください。



※ 表示される画面は、異なる場合があります。



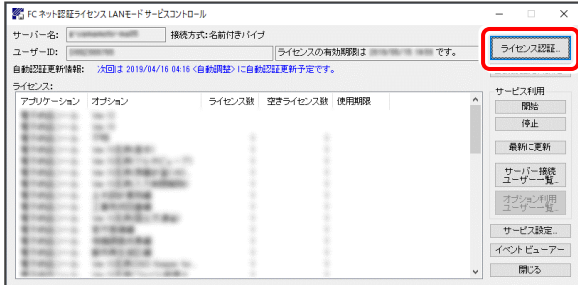
4. [FC ネット認証LAN サービスコントローラ をすぐに起動する] にチェックを付けて [完了] を押します。



(次ページへ進みます)

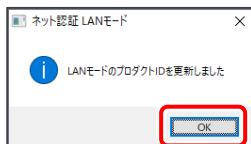
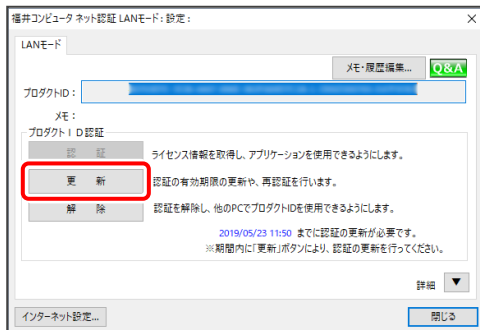
Step2 | ライセンス情報の更新（サーバー）

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントローラ] 画面で、[ライセンス認証] を押します。

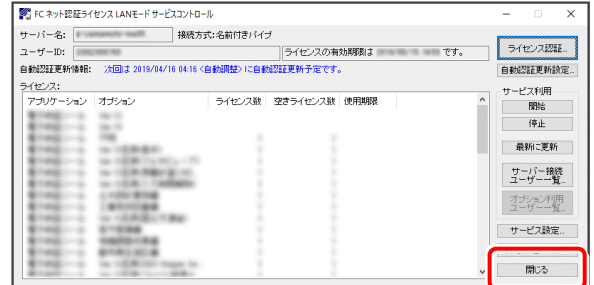


※ 上記画面が表示されていない場合は、
Windows11 : スタートメニューの「すべてのアプリ」
Windows10 : スタートメニュー
 から、[FC ネット認証LAN Server] – [FC ネット認証LAN
 サービスコントローラ] を起動してください。

2. [更新] を押します。



3. ライセンス情報が更新されたことを確認し、[閉じる] を押します。



以上でネット認証ライセンス（LAN）の更新は完了です。

続けてクライアントで、各プログラムの更新をおこなってください。

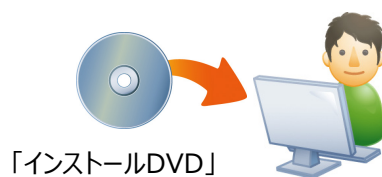
【補足2】：USBプロテクト【SNS-W】を使用する場合は

USBプロテクト【SNS-W】のインストール

USBプロテクト【SNS-W】を使用される場合は、USBプロテクト【SNS-W】のプロテクトドライバーをインストールします。

Step1 | システムセットアップ

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



※ 重要！！

USBプロテクトは、
まだコンピューターに
装着しないでください。



2. セットアップ画面を [その他インストーラー] に切り替えて、[USBプロテクトセットアップ] をクリックします。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の
[INSTALL.EXE] を実行してください。

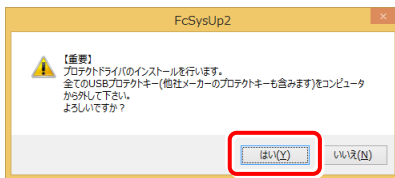


(次ページへ続きます)

3. [SNS-W] ボタンを押します。



USBプロテクトがコンピューターから外されている事を確認後、[はい] ボタンを押します。

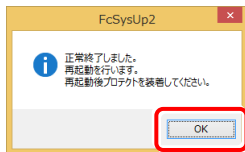


※ 重要！！

他社のソフトウェアで使用しているUSBプロテクトがある場合は、そのUSBプロテクトも外してください。



[OK] ボタンを押してコンピューターを再起動します。



4. コンピューターの再起動後、USBプロテクトを装着します。



自動的にデバイスドライバーソフトウェアがインストールされ、プロテクトが認識されます。

以上でUSBプロテクトのインストールは完了です。

USBプロテクト【SNS-W】の書き換え

・バージョンアップ時
・ライセンス情報の変更時

プログラムのバージョンアップ時やプログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時には、送付された「プロテクト書換CD」を使用して、USBプロテクト【SNS-W】のライセンス情報を書き換える必要があります。USBプロテクト【SNS-W】をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を書き換えてください。

Step1 | プロテクトの書き換え

1. コンピューターに、書き換えを行う USBプロテクトを、1つだけ装着します。

※ 1つだけ



2. 「プロテクト書換CD」を、コンピューターにセットします。



3. プロテクトを選択する画面が表示された場合は、「SNS-Wタイプ」をクリックします。



※ 表示される画面は異なる場合があります。

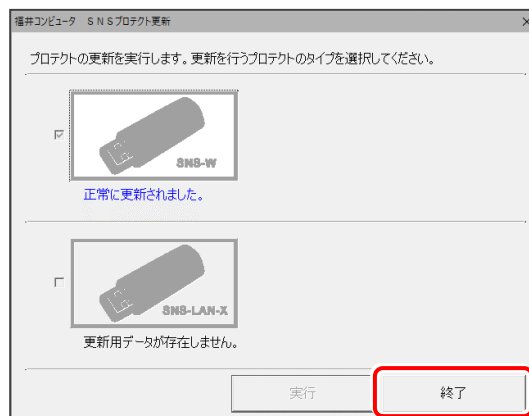
※ 画面が表示されない場合は、「プロテクト書換CD」内の [Install.exe] を実行してください。

4. [SNS-W] にチェックが入っている事を確認して、[実行] ボタンを押します。



※ 複数のUSBプロテクトをお持ちの場合は、プロテクトを付け替えてから、同手順を繰り返します。
必ず1つずつ書き換えてください。

5. 正常終了したら [終了] ボタンを押して画面を閉じます。



以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。

【補足3】：USBプロテクト【SNS-LAN-X】を使用する場合は

SNS-LAN-Xプロテクトの、「新規導入時の手順」です。
プログラムのインストールをおこなう前に、実行してください。

USBプロテクト【SNS-LAN-X】のインストール

SNS-LAN-Xプロテクトを装着するサーバーに、まず「SNS-LAN-Xプロテクト」をインストールします。
その後SNS-LAN-Xサーバー（ライセンス管理プログラム）をインストールします。

Step1 | システムセットアップ

1. ライセンス管理用のサーバーに、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」をセットします。



SNS-LAN-X用ライセンスCD (サーバー)

※ 重要！！

USBプロテクトは、
まだサーバーに
装着しないでください。

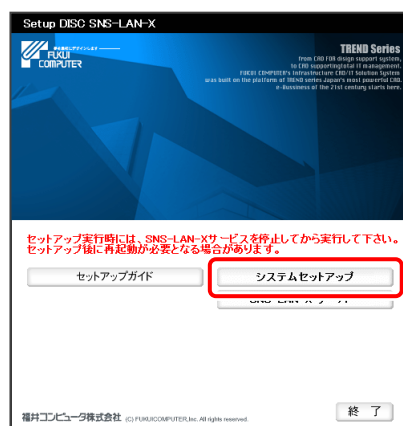


「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」 をお持ちのお客様は

プログラムのバージョンアップ時や、プログラムの追加購入時に発送される「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をお持ちのお客様は、最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」を使用してください。

（古い「SNS-LAN-X用ライセンスCD」は使用しないでください。バージョンアップしたプログラムや追加購入したプログラムが動かなくなる場合があります。）

2. セットアップ画面の「システムセットアップ」ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」内の [Install.exe] を実行してください。

「SNS-LAN-X」で使用するポートについて

「SNS-LAN-X」では、UDPの「5093」ポートを使用して通信を行います。

（次ページへ続きます）

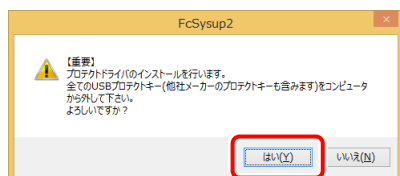
3. USBプロテクトの画像のボタンを押します。



[SNS-LAN-X] ボタンを押します。



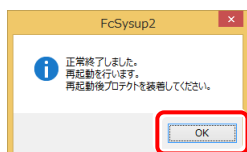
USBプロテクトがサーバーから外されている事を確認後、[はい] ボタンを押します。



※ 重要！！

他社のソフトウェアで使用しているUSBプロテクトがある場合は、そのUSBプロテクトも外してください。

[OK] ボタンを押してサーバーを再起動します。



4. サーバーの再起動後、USBプロテクトを装着します。

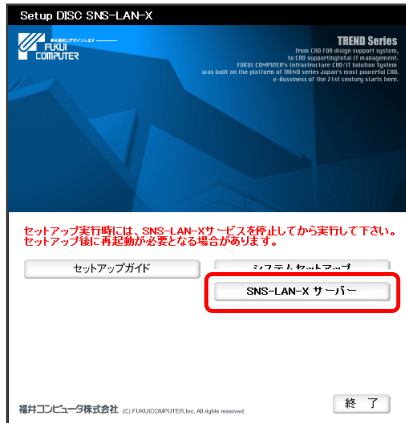


自動的にデバイスドライバソフトウェアがインストールされ、プロテクトが認識されます。

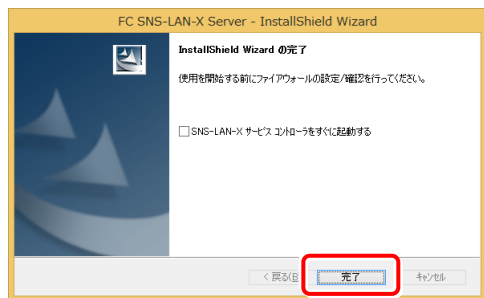
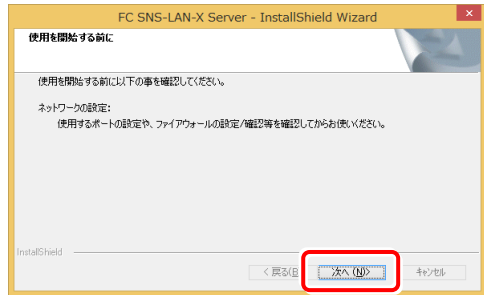
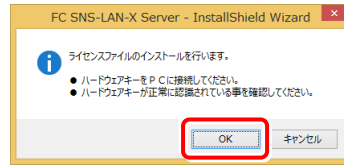
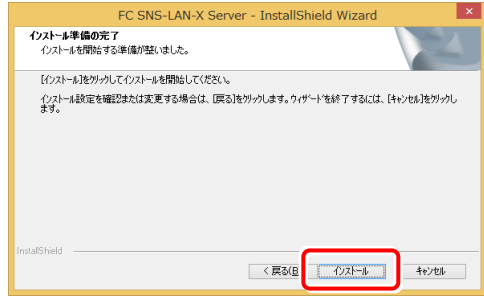
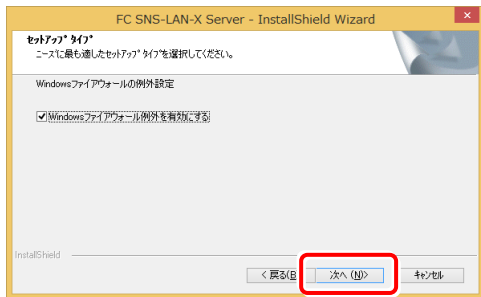
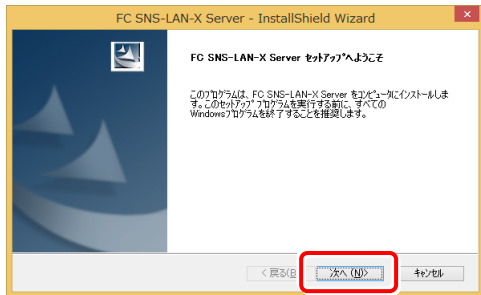
(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | 「SNS-LAN-Xサーバー」
(ライセンス管理プログラム) のインストール

1. USBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着したサーバーで、
「SNS-LAN-Xサーバー」 ボタンを押します。



2. 表示される画面に従って、SNS-LAN-Xサーバーを
インストールします。



以上でUSBプロテクトのインストールは完了です。
再起動のメッセージが表示された場合は、再起動
してください。

USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え

・バージョンアップ時
・ライセンス情報の変更時

プログラムのバージョンアップ時やプログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時には、USBプロテクト【SNS-LAN-X】のライセンス情報の書き換えと、SNS-LAN-Xサーバー（ライセンス管理プログラム）の更新が必要です。

USBプロテクト【SNS-LAN-X】をお使いの方は、以下の手順で書き換えと更新をおこなってください。

Step1 | 「SNS-LAN-Xサーバー」 （ライセンス管理プログラム）の更新

1. USBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着したサーバーに、送付された新しい「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をセットします。

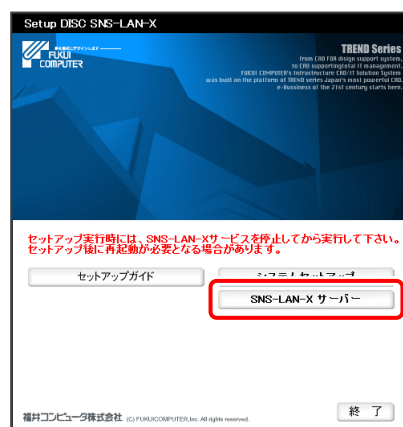


送付された「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」は、大切に保管してください

サーバー入れ替えなどで、SNS-LAN-Xサーバー（ライセンス管理プログラム）の新規インストールが必要になった場合は、最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」を使用して新規インストールします。

最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」は、大切に保管してください。

2. 「SNS-LAN-Xサーバー」ボタンを押します。



メッセージにしたがって、プログラムとライセンスを更新します。

※ 上記画面が表示されない場合は、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」内の「Install.exe」を実行してください。

「SNS-LAN-X」で使用するポートについて

「SNS-LAN-X」では、UDPの「5093」ポートを使用して通信を行います。

以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。
再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。

【補足2】：セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は

インストールする環境（セキュリティ環境など）によっては、セットアップ画面のボタンを押しても反応が何もない場合があります。その場合は下の図と表を参考に、インストールDVD内の実行ファイル（.exe）を直接実行して、プログラムをインストールしてください。

表内の赤字部分は引数です

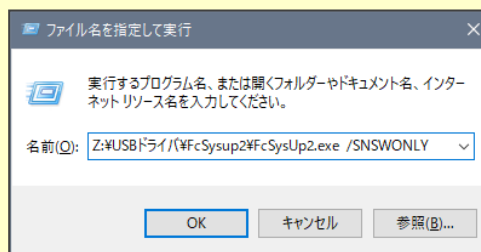
下表の実行ファイルに赤字で書かれている文字は「引数」です。

引数を含めて実行する場合は「ファイル名を指定して実行」で、ドライブ名も含めたパスを入力して実行します。

例) DVDドライブが「Z」の場合

Z:¥USBドライブ¥FcSysup2¥FcSysUp2.exe /SNSWONLY

※ 「ファイル名を指定して実行」は、キーボードの「Windows」キーを押しながら「R」キーを押して表示します。



No.	【製品インストール】タブ	実行ファイル（パス）
①	電子納品検査プログラム	GtFEnou¥EX-GLoader.exe
②	建設CAD	Musashi¥Setup.exe
③	写真管理	GtAlbum¥Setup.exe
④	各種ツール	ツール¥Packages¥LMenu.exe

製品インストール

その他インストーラー

5	USBプロテクトセットアップ	8	CIMPHONY Plus連携ツール	11	TS出来形検査ツール
6	ネット認証ライセンス	9	TREND-ONE⇒建設CADコンバーター	12	Antenna House PDF Driver 8.0
7	ネット認証ライセンスLANモードサーバー	10	建設CADサーバー	13	各種資料のインストール

© FUKUICOMPUTER ARCHITECT, Inc. All Rights Reserved. 終了

No.	[その他インストーラー] タブ	実行ファイル (パス)
5	USBプロテクトセットアップ	USBドライバ¥FcSysup2¥FcSysUp2.exe /SNSWONLY
6	ネット認証ライセンス	Net¥FcSysup2¥FCSysUpMain.exe
7	ネット認証ライセンス LANモード サーバー	Fcnets¥DLAS-LAN-SERVICE Setup.exe
8	CIMPHONY Plus連携ツール	GtAlbum¥CIMPHONY Plus¥setup.exe
9	TREND-ONE⇒建設CADコンバーター	BMLink¥setup.exe
10	建設CAD サーバー	Musashi¥Setup.exe SERVER
11	TS出来形検査ツール	ツール¥Packages¥TS出来形検査ツール¥TSINSPECT1004.exe
12	Antenna House PDF Driver 8.0	PDF¥AHPDFDriverSetup.exe /AHPD /SHOWUI
13	各種資料のインストール	ET武蔵¥土木各種資料¥setup.exe

Q & A

Q.1

ネット認証ライセンスの操作解説の資料はありますか？

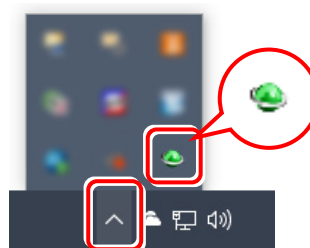
A.1

ネット認証ライセンスの Q&A をご覧になってください。

ネット認証ライセンスの設定画面からネット認証ライセンスの Q&A を開くことができます。
Q&A には、ネット認証ライセンスの機能やお問い合わせのあった内容について記載されています。

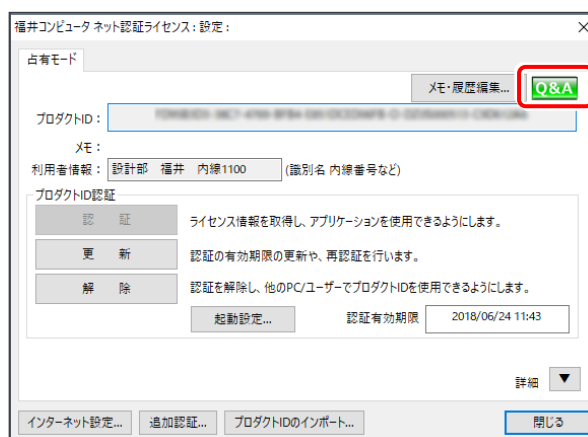
開き方

- 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。

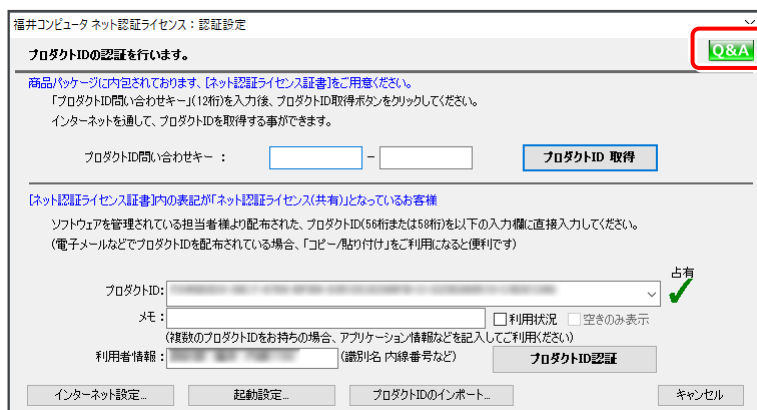


- ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[Q&A] ボタンを押します。

ネット認証ライセンスの Q&A が開きます。



または



Q.2

プログラムの起動時に、「プロテクト設定」の画面が表示されて起動できません。

A.2

お使いのプロテクトを選択し、[OK] ボタンを押してください。

(プログラムによって、画面が異なる場合があります)

<p>【ネット認証ライセンス (占有)】を使用</p> <p>[ネット認証] - [占有モード] を選択</p> 	<p>【ネット認証ライセンス (LAN)】を使用</p> <p>[ネット認証] - [LANモード] を選択</p> 	<p>【ネット認証ライセンス (占有)】と【ネット認証ライセンス (LAN)】を併用</p> <p>[ネット認証] - [占有モード+LANモード] を選択</p> 
<p>【ネット認証ライセンス (共有)】を使用</p> <p>[ネット認証] - [共有モード] を選択</p> 	<p>【ネット認証ライセンス (LAN)】を使用する場合は、[サーバー名] に、「ネット認証ライセンスLANモードサーバー」をインストールしたライセンス管理用サーバーのコンピューター名を入力してください。</p> <p>モードが選択できない場合は、[ネット認証設定] ボタンを押して、ネット認証ライセンスの製品IDを認証してください。</p> 	
<p>【SNS-W】を使用</p> <p>[SNS] - [USBローカル] を選択</p> 	<p>【SNS-LAN-X】を使用</p> <p>[SNS] - [LAN] を選択</p> 	<p>【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用</p> <p>[SNS] - [USBローカル+LAN] を選択</p> 

【SNS-LAN-X】を使用する場合は、[サーバー名] に【SNS-LAN-X】を装着したライセンス管理用サーバーのコンピューター名を入力してください。また [ポート番号] には、サーバーの「SNS-LAN-X サービスコントロール」の [オプション] で設定されたポート番号を入力してください。

Q.3

ネット認証ライセンス（LAN）のライセンス管理について教えてください。

A.3

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、
「FCネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」で管理します。

「FCネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」は、「ネット認証ライセンス（LAN）」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows11 の場合：Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」
 - Windows10 の場合：Windowsのスタートメニュー
- から、[FC ネット認証LAN Server] - [FCネット認証LAN サービスコントローラ] を実行してください。

The screenshot shows the main application window with several callout boxes explaining its features:

- [サーバー名]**: サーバーのコンピューター名が表示されます。
- [ユーザーID]**: ネット認証LANのユーザーIDが表示されます。
- [ライセンス数]**: 同時使用が可能なライセンス数が表示されます。
- [空きライセンス数]**: 現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。
- [サービス設定]**: 接続設定やログファイルを設定します。
 - [接続] タブ**: 接続プロトコルを設定します。
 - [動作ログ] タブ**: 使用されたアプリケーションの動作状況を記録します。
 - [使用状況ログ] タブ**: 使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。
- [ライセンス認証]**: プロダクトIDの認証・更新などを行います。
- [自動更新設定]**: 認証の自動更新処理について設定します。
- [開始]**: サービスを開始します。ネット認証LANを使用する場合は、サービスを開始しておく必要があります。
- [停止]**: サービスを停止します。
- [最新に更新]**: 空きライセンスなどを最新の情報に更新します。
- [サーバー接続ユーザー一覧]**: ライセンスを使用しているユーザーを確認します。
- [オプション利用ユーザー一覧]**: 選択したオプションを使用しているユーザーを確認します。
- [イベントビューアー]**: Windows標準機能の「イベントビューアー」を開きます。ネット認証LANサーバーが動作しないときなど、サポートの対応時に使用します。

- [動作ログ] には、アプリケーションの動作状況が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力] チェックボックスをオンにし、[パス] にログファイルの出力先フォルダーを設定します。
 2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」のサービスの開始時に、ログの取得が開始されます。
 3. サービスの停止時に、ログファイルが保存されます。ファイル名は、ネット認証LAN動作ログ_ (日時).log です。
- [使用状況ログ] には、「何時何分の」ライセンスの空き状況が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力] チェックボックスをオンにし、[パス] にログファイルの出力先フォルダーを設定します（[間隔] と [最大履歴数] は適宜に設定）。
 2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。
- ネット認証の「占有」と「LAN」を併用した場合、「占有」のライセンスが優先して使用されます。

Q.4

USBプロテクト【SNS-LAN-X】のライセンス管理について教えてください。

A.4

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、
「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」で管理します。

「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」は、「USBプロテクト【SNS-LAN-X】」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows11 の場合：Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」
 - Windows10 の場合：Windowsのスタートメニュー
- から、「FC SNS-LAN-X Server」 - 「FC SNS-LAN-Xサービスコントロール」を実行してください。

The screenshot shows the main window of the 'FC SNS-LAN-X サービスコントロール' application. It features a 'サーバ' (Server) field, a 'ユーザID' (User ID) field, and a table with columns for 'ライセンス数' (License Count) and '空きライセンス数' (Available License Count). On the right side, there are buttons for '開始(S)' (Start), '停止(T)' (Stop), '更新(P)' (Update), '接続ユーザ(U)' (Connect User), and 'オプション(O)...' (Options). A separate 'オプション' (Options) dialog box is shown below, with tabs for '接続' (Connection) and '使用状況ログ' (Usage Log), and a 'ポート番号' (Port Number) field set to 5093.

【サーバ】
SNS-LAN-Xプロテクトが接続されているコンピュータ名が表示されます。

【ユーザID】
SNS-LAN-XプロテクトのユーザIDが表示されます。

【ライセンス数】
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

【空きライセンス数】
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

【開始】 ボタン
サービスを開始します。
SNS-LAN-Xプロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

【停止】 ボタン
サービスを停止します。

【更新】 ボタン
表示されている情報を最新に更新します。

【接続ユーザ】 ボタン
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

【オプション】 ボタン
接続設定やログファイルを設定します。

【接続】 タブ
接続で使用するポート番号を設定します。

【使用状況ログ】
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

- **【ポート番号】** の初期値は「5093」です。接続に問題がある場合のみ、変更してください。変更した場合は、プログラム側のプロテクト設定のポート番号も合わせる必要があります。
- **【使用状況ログ】** には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. 「ログの出力」チェックボックスをオンにし、「パス」にログファイルの出力先を設定。（「間隔」と「最大履歴数」は適宜に設定）
 2. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。
- USBローカルとLANのプロテクトの2種類を併用した場合、USBローカルのライセンスが優先して使用されます。